



# PTAとちぎ

PARENT TEACHER ASSOCIATION

とちぎPTA新聞209号

発行/栃木県PTA連合会

〒320-0066 宇都宮市駒生

1-1-6 栃木県教育会館内

TEL 028 (622) 2833

FAX 028 (622) 2834



子育ては  
インタビュー  
あなたはだあれ？  
が子どもを伸ばす



アンケート結果に耳を傾ける  
会員の皆さん

## 子育てセミナー2024 講師 小島 慶子氏

令和6年11月8日（金）（いい親の日）宇都宮市文化会館大ホールにて、栃木県PTA連合会「子育てセミナー2024」を開催致しました。講師に元TBSアナウンサー「小島慶子」氏をお招きし、「子育てはインタビュー あなたはだあれ？が子どもを伸ばす」を演題に、ご自身の経験を通じて家族や子育てについてお話を頂きました。

小島氏は1995年からアナウンサーとして活動し、現在は独立して執筆や講演など、多様なメディア活動を行っています。二人の息子がおり、家族でオーストラリアに移住した経験から、異文化の中で子育ての重要性や気づきを語られました。講演会の演題である、インタビュー形式での子どもとの対話を重視する姿勢を紹介し、親が子どもの興味や考えに耳を傾けることで信頼関係を築く方法を教えて頂きました。

講演内では、ご自身の専業主婦家庭での育ちを振り返りつつ、時代の変化とともに変わる親の役割や価値観について語られました。親は子どもを完全に理解していると思わず、「あなたは誰？」と、インタビュー形式で子どもとの会話を大切に、親が子どもの考えや興味に耳を傾ける姿勢で接することで、子どもの自尊心を育み、安心感を与えることができると述べました。

さらに、小島氏は親自身の幸せが子どもの幸せに直結すると述べ、完璧な親を目指さず、自分らしくいることが子どもの幸福につながることを強調しました。子どもには広い選択肢があり、自由に道を選べる社会を目指すべきだと述べ、人生の多様性を尊重する考えを伝えました。

最後に、親子関係を豊かにするためには、日々の会話や愛情表現が大切で、社会全体が子どもを見守り支える環境づくりが必要だと締めくくりました。（情報委員 北岡篤哉）

栃木県PTA連合会推薦図書

初版から40年以上にわたるご愛顧ありがとうございます

「新しい常用漢字辞典」 「改訂 熟語辞典」  
「改訂 ことわざ・慣用句・四字熟語辞典」

教育図書学参部 TEL/FAX（無料）0120-963-180

# FOCUS スリラーナイト2024 公民館がお化け屋敷になっちゃった



## お化け大集合



令和6年10月13日(日)岩舟公民館において、岩舟地域の小学校4校のPTA会員及び地域ボランティア「アシストネット」が協力して合同でお化け屋敷イベントを開催しました。

このイベントは、岩舟ブロック内4つの小中学校PTA会長達が栃木市PTA連合会総会での意見交換会で、学校行事だけでなく地域の行事等、様々な活動が増えていく中で「岩舟地域の子どもの為に協力して何かできないか」と話が出たことがきっかけで、スリラーナイト実行委員会を組織して何度も打ち合わせを重ねてきました。

初開催ということで参加者が集まるのか不安もありましたが、募集よりも多くの子どもから大人まで多世代にわたり参加していただきました。また、待機場所の体育館を利用してフォトスポット、ゲームコーナー、ボディペイント等を行い、お化け屋敷以外にも楽しんでもらえるように工夫しました。



小野寺小学校  
PTA会長 熊倉弘之

今回のスリラーナイトを通じて地域の「大人同士のつながり」、「大人と子どものつながり」を醸成し、体験活動の機会を提供できたのではないかと思います。

地域交流イベントとして、今後取り組んでいきたいと思っております。

## 栃木県教育委員会との意見交換会

令和6年10月18日、県庁南別館の教育委員室にて、教育長様、生涯学習課長様はじめ5名の職員の皆様にご出席いただき、本会から会長以下9名が参加し意見交換会を行いました。揚石会長が日頃のご協力の感謝を申し上げ、県教委と共に連携してPTA活動を進めていきたいという意思を伝え、和やかな雰囲気の中、会議をスタートしました。阿久澤教育長様からは、本県の教育の現状として、ICTの活用状況や問題点、いじめ・不登校者数の増加と対策、特別支援教育への更なる支援などの話がありました。

今回の意見交換会のテーマは二つ

①持続可能で魅力あるPTA活動の推進について  
最近のPTA非加入問題、人口減によるPTA活動費の減少問題、更にはPTA不要論まで出ていますが、PTAは、学校と共に子ども達を大切に育み幸せに生きるための手助けをする存在として必要であることを再認識しました。

②教職員の働き方改革について  
県教委では、校長先生方の研修会・モデル校授業・業務改善推進委員会を行うなど、様々な対策が取られており、コミュニケーションなどの推進や地域との連携をさらに図ることで、働き方改革につながるのお話をいただきました。

地域と学校の橋渡しにPTAもお役に立ちたいと感じました。

盛りだくさんの内容の1時間でしたが、今後も学校とPTAが連携して活動していけるように、県教委と県P連の意見交換会の機会はとても大切な時間であると思えました。

県P連監事 服部 由佳



## 県教委との意見交換会



## 【組織編成委員会】報告

組織編成委員会委員 山本和紀

令和6年度の総会におきまして、特別委員会の1つとして、本委員会があります(本年度総会資料P30) 執行部・理事・3つの常置委員会からメンバーを選出し、合計8名で構成されております。栃木県PTA連合会の組織的な部分で、見直すべきところを検討し、活動として変える部分と変えてはいけない部分など協議して参りました。抽出された課題は、正副会長会議の議題にあげ、協議をし、再度当委員会でも議論するという流れで進めて参りました。

趣旨は「やりがいのある県PTAの活動をめざす」という点に尽きます。裏を返しますと、県PTAに「出向して下さる方だけでなく、県内の会員の皆様にも、県PTAの存在意義を示すにはどうしたらよいか」というテーマでもありました。今現在行われている会議や委員会、また県PTAの事業に参加された皆様、ご自身の単位PTAにお戻りになった際、有意義な情報を持ち帰ることができる活動をめざすにはどうしたらよいか、という課題は、皆様の単位PTAの活動の中でも、思い当たる点があるのではないのでしょうか。そんな課題を、組織を再編成することで改善することはできないか。委員会の職務分掌を見直すことで有意義な県PTA活動につながることはできないか、という具体的な案を突き詰めて、委員会を開催して参りました。

コロナ禍を経て、PTAの存在意義を、考えなくてはいけない時期になったのは、全国的な傾向かと思えます。その中でも、より良い栃木県PTA連合会に、積極的に変えていこうという姿勢は、揚石会長をはじめ執行部や事務局の皆様のご熱意と、PTA活動を大切に思い子ども達のより良い教育環境のために真摯に活動する、理事や保護者の皆様の姿勢の賜物かと思えます。挑戦し続ける栃木県PTA連合会を引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

# 日本PTA全国協議会年次表彰式



## 受賞された皆さん



令和6年11月15日(金)ホテルニューオータニ東京にて、公益社団法人日本PTA全国協議会年次表彰式が開催され、PTAの振興及び発展に寄与された団体と個人に対し各賞が贈られました。本県からは次の団体と個人の方が表彰されました。おめでとうございます。

日本PTA全国協議会  
会長表彰(団体)  
茂木町立逆川小学校PTA

令和四・五年度の研究PTAの成果が認められ受賞することが出来ました。このような機会をいただきました栃木県PTA連合会関係者および会員の皆様、活動にご協力いただいた「逆川」地区の皆様、本校の先生方、保護者の皆様に御礼申し上げます。研究PTAでは、「逆川」地区の見所を知り、体験する事で、コンビニやスパーが遠くて不便な地域ではなく、大自然と史跡に恵まれた素晴らしい地域であると再認識し、願わくは自分たちの住む「逆川」のこともっと好きになってもらえればと、企画・活動しました。研究活動で得た地域とのつながりを大切にしながら、今後も活動の充実を図ります。

日本PTA全国協議会

会長表彰(個人)

◆山越智行(佐野市)

【表彰式に参加して】  
去る11月15日、県を代表し、年次表彰式に出席してきました。PTAとしての活動はこれで区切りとなりますが、これまでの活動で得た経験や学びを今後の地域での活動に活かし、役立てていきたいと思えます。共に活動し、支えてくださいました皆様に感謝いたします。ありがとうございます。

◆菊地芳弘(宇都宮市)

【PTA活動を振り返って】  
この度は、日本PTA全国協議会会長表彰にご推薦いただき誠にありがとうございます。また、揚石会長と共に活動した仲間とも再会し、懐かしい気持ちと忙しいながらも楽しかった日々を思い出しました。PTAは離れましたが、今後はPTA活動で培った経験や思い出を胸に、地域の子どものために活動してまいります。

◆平山忠澄(那須塩原市)

【友と共に】  
表彰にあたり、三島小・三島中PTA・那須塩原市・那須地区・栃木県PTAの「友」の顔が思い出されました。

一緒に悩み、考え、汗を流し、笑いあった日々は、手にした表彰状のように私にとって宝物です。ほんとうにありがとうございます。今後も子ども達の笑顔・未来のため、「共」に頑張っていきたいと思います！

日本PTA全国協議会

会長表彰(個人)

◆林 昌宏(宇都宮市)

【年次表彰への感謝】  
この度は、日P連の名誉ある表彰を賜りありがとうございました。時代の変化の中で、自分の行動は本当に正しいものなのか、常に葛藤しながらの活動でしたが、こうして責任を全うできたことに安堵しています。

PTAが子ども達にとって有益な存在であることを信じ、益々の発展をお祈りしています。

第46回全国小中学校PTA広報紙コンクール

教育家庭新聞社 社長賞  
宇都宮市立西小学校 PTA

この度、大変光栄なことに全国小中学校PTA広報紙コンクールにおいて教育家庭新聞社 社長賞を受賞させていただきました。昨年度の私たち西小学校広報部のモットーは「とにかく楽しく！」コロナ禍を経て多くの行事が復活し、撮影に取材にレイアウトなど、大変な作業が多い広報紙作りだからこそ、チームの連携を大切にして、皆一丸となって頑張ってきました。

その結果、このような評価をいただけたことを大変うれしく思っております。

表彰式では、学生の時以来の表彰台に緊張しましたが、とても良い経験をさせていただきました。ありがとうございます。



受賞された齋藤さん  
高島さん

## 地区情報交換会

### 下都賀地区

令和7年1月18日、大平健康福祉センターにて下都賀地区（壬生町、野木町、小山市、栃木市、下野市）との情報交換会を開催しました。

冒頭に、栃木県PTA連合会揚石会長、熊倉下都賀地区PTA連合会長による挨拶が行われ、続いて県P連の役員より活動報告、次年度の組織変更等の説明があり、今後県P連として委員の負担軽減とやりがいのある組織づくりを行っていく方針であると語られました。

#### 【各連合会の活動報告】

壬生町PTA連合会からは主に藤井小学校の、小規模校でありながら周辺地域との繋がりを多く持ち、近隣高校や中学校、さらに周辺企業や地域消防団との交流を行い、多くの人々と交わる機会を作り、ひいては防犯や防災に役立っているとの発表をされました。小山市PTA連合会からは、毎年行われている教育研修会と情報交換会の活動が発表されました。



教育研修会は保護者だけでなく、近年子どもたちが参加出来るイベントにシフトされ、好評を得ているとの事です。情報交換会では市内各学校のPTA役員が集まり、他校の取組や情報を共有しているそうです。

栃木市PTA連合会からは、各ブロックの発表が行われました。栃木市では各ブロックで研修内容を検討して研修会が実施され、それぞれのブロックごとに地域を意識した取組等の説明がされました。

下野市PTA連絡協議会からは、校長先生や教育委員会との年2回の座談会や上映会等の発表をされました。下野市ではコミュニティが衰退している地域がある事が問題とのことでした。

その後の意見交換会では、他の地区の取組についての質問等があり、活発な意見交換が行われました。その中でも次の役員を探すのに大変苦労されている学校が多く、そのために組織をスリム化したり、役員の負担軽減のために業者を有効活用したりと、各学校それぞれの方法で注力しているのだと感心させられました。最後に揚石会長から「役員が笑顔でいること」が子ども達のためになると締めめの挨拶で終了しました。

「やはりPTA役員は大変だった」と思われるより「PTA役員をやつてよかった」と一人でも多くの方に思ってもらえるよう、このような情報交換の場を増やしていく必要があるのではないのでしょうか。

短い時間ではありましたが、皆様から多くの意見を聞き、貴重な会に参加することができました。

小山市PTA連合会顧問

白井 利昌

### 安足地区

令和7年1月23日、足利市生涯学習センターにて安足地区（足利市、佐野市）との情報交換会を開催しました。栃木県PTA連合会揚石会長はじめ各地区から総勢24名での意見交換会となりました。はじめに栃木県PTA連合会の活動報告と新年度からの組織変更のご説明がありました。

新組織移行の目的としては会員様の負担軽減（人数3割減）と、各委員会のやりがいを重視し再編いたしました。

佐野市では、5年ぶりの学校給食試食会を佐野市北部給食センター様のご協力を頂き開催することが出来ました。

市内の各小中学校PTA総勢65名の参加があり学校で子どもたちが給食配膳を行っている方法と同様に配膳をし、その後皆様に試食しました。



当日のメニューは子ども達に人気のカレーライスとブロッコリーサラダでした。最後にブロッコリーサラダのレシピを教えていただき、参加された皆様満足されていたようです。

佐野市P連は2月8日に結成20周年教育フォーラムを開催予定ですが、約800名の参加が予定されています。その内164名がお子様に参加です。講演内容がお子様にも参加していただきたい内容になっております。

足利市では、PTA会長研修会ではマインドマップの手法を学び、自らマインドマップ作成の体験をすることで、思考整理の手段や方法を今後のPTA活動が充実するよう実施しました。教育懇談会では足利市内各校の通学路の状況や児童生徒の登下校の実態を知り、情報をもち寄ることで、登下校時の懸念事項を保護者・学校・行政で共有し約2000人のアンケートをもとに「足利っ子のためのハザードマップ」の作成をしたようです。

県P連をはじめ各地では様々な課題があり、その課題に対して向き合いながら、子どもたちのために楽しく行方をモットーに活動していけたらと思います。

佐野市PTA連合会理事

阿部 康

## シリーズ⑥

## PTAに対する想いを聞いちゃいました

## 「対話」するPTA組織を目指して

塩谷町立塩谷中学校 校長 青木 均



本校は、今年度が創立20周年になり、11月16日（金）に記念式典と講演会を開催しました。この20周年記念事業を開催するに当たり、令和2年度PTA予算から浄財を蓄積し、当時のPTA役員の方々と記念事業実行委員会などの運営組織や講演会の講師などを話し合い、少しずつ次年度に引き継いできました。

途中にはコロナ感染症拡大もあり、活動が制限されたり、生徒数減少に伴いPTA組織自体も改編作業を余儀なくされたりする中でPTA会長を中心とする執行部の方々と、書面や対面によりPTA会員の意見を聴きつつ、学校と家庭が協力し合う関係を構築しようと試みてきました。しかしながら一度中断された活動を再開するには、その形（組織）のままではなく、新しい生活様式を踏まえた形にする必要がありました。つまり活動意欲も含めて、効率的かつ充実感のある内容に変えようとする試みです。

20周年記念式典はPTAの物心両面での協力が必要であり、「式典部」「記念誌部」「総務部」の3本柱で実行委員会を組織し、令和6年度のPTA専門部長や部員の方々に運営も協力してもらいました。

準備委員会では部長を中心に、「ここはどうする」など、積極的に話し合いが進められました。記念式典当日は役員の方々が楽しそうに運営され、その姿を見て他の会員も活動に参加してくれると有難いと思いました。

限られた時間の中で、子ども達のために、どのようにして活動を主体的に盛り上げていくか、模索中ではありますが、「対話」を通してPTA活動の充実に取り組んでいます。



PTA会長 渡辺義隆 講師 植松努 校長 青木均 元PTA会長 松本光雄

## 「言葉の力」

高根沢町立阿久津小学校 PTA会長 渡邊 恭子



「おはようございます毎朝校門で交わされる挨拶は、私にとって特別な瞬間です。初めは、ただ元気をもらおうために始めたこの習慣ですが、今ではその意味が大きくなりました。挨拶の「言葉」は、人と人を繋ぐ素敵な力を持つている魔法だと思っています。時には、言葉が相手を傷つけてしまうこともあります。それ以上の人に元気にしたり、勇気づけたり、信頼関係を築いていく力も秘めていると思います。

挨拶は、ただの言葉ではなく、心を繋ぐ架け橋だと思っています。引き続き、毎朝の挨拶を大切に、子ども達と共に温かな時間を共有していきたいと考えています。

これからも、かわいい子ども達の弾けるような笑顔とほほむような声に元気をもらいながら、子ども達の毎日の変化に気づき、その時々で学校と共有し、必要であれば対応も考え、子ども達がより良い学校生活を送ることが出来るように見守っていければと思います。

毎朝の挨拶を交わすことで、私たちの間には、小さな魔法がかかります。その瞬間に、互いの心が軽やかになり気持ち明るくなります。そして、少しずつ信頼関係が育まれていくのを感じます。この信頼が、子ども達の心の不安や悩みを話せる存在へとつながることを願っています。



元気な挨拶で1日のスタートを！

## 県P役員を受けて感じたこと

監事 井上直樹



私が県Pに参加し始めたのは、まだコロナ禍の残る2021年、「どうせやるなら積極的」に、そんなスタンスで関わり始めました。

私の好きな言葉は「子ども達や未来のために」「常に自分ごととして考える」「慣例や忖度に負けずに」「そんな想いを実現するため時間をやり繰りして会議に参加し、積極的に意見を出してきました。良いところを残しながらも時代に合わせて変わることが求められているPTA。栃木県内の各地区でも様々な困りごとを持ついたり、工夫しながら運営したり、みんなが「何とかせねば」という想いで活動されている状況も感じています。

PTAに関わる仲間のために、そして本会の方針である「子どもたちと同じ目線で向かい合い全ての人が笑顔になるPTA」を目指すために、皆さんと連携しながら自らの課題を見つけて提言をするのが私の役目だと考えていて、残りの1年間、今後とも微力ながら貢献出来るように取り組んで行きたいと思っています。

## 情報委員会だよりQ&amp;A

Q1 栃木県PTAってどんなところ？

A1 各市町PTAの代表が理事となって子ども達のためにまたは市や町の会員のために県全体への働きかけや行政へのアプローチをしています。また保護者が学べる機会が増えます。

A2 県PTAは栃木県全体のPTA会員のために勉強会や講演会などを企画・実施し、また市町PTAの意見や要望をさらに上に伝える役割を持つ団体です。一方、市町PTAは学校や地域、家庭の連携を深め、情報交換、会員研修などを行う団体です。

Q2 県PTAと市町PTAの違いってなあに？

Q3 県PTAの情報委員会って何をしているの？

A3 栃木県PTAの広報紙である、とちぎPTA新聞を編集したり、単位PTA向けの広報紙編集講習会を企画、実施したいと思っています。

Q4 栃木県PTAの揚石哲司会長と揚石達也副会長、どちらも同じ「アゲイシ」だけど親戚なのかな？

A4 生き別れた親子だと思っていたが、、DNA鑑定の結果、赤の他人だと判明しました(▽;)。



# 令和7年度栃木県PTA連合会主な事業

## ◆広報紙コンクール募集

小・中学校PTAが発行する広報紙の中から優秀な作品を表彰・公開することにより単位PTAの広報活動のレベルアップとPTA活動の活性化に寄与することを目的とし、作品を募集いたします。

【審査対象】令和6年度に各学校PTAで発行された紙面またはWEB版での広報紙に限る。

## ◆三行詩コンクール募集

## ◆広報紙編集講習会

## ◆子育てセミナー2025

※日程・内容詳細は、後日各小中学校あてにご連絡いたします。

## ◆栃木県PTA連合会定期総会

【日時】令和7年6月8日(日)  
13時～16時

【場所】栃木県教育会館大ホール

## 【会長総括】会長 揚石哲司

今年度も多くの方々のご協力で、この新聞を発行できますこと、大変嬉しく、全ての皆様に感謝申し上げます。

毎日のようにPTAに対して様々なご意見が飛び交う中、ここ栃木県は本来の目的である子ども達の学びや歩み、経験を後押ししていくことがPTAのあるべき姿だと再認識し、ブレずに歩むことが出来ました。これは会員お一人お一人の子ども達のため、誰かのためにという崇高な想いの賜物であるとあらためて感謝申し上げます。

これからも本当に大切なもの、必要なものを守り育てていけるよう、皆で同じ方向を向いて進んで行けることを願っています。引き続きご理解、ご協力を宜しくお願い致します。

## 【編集後記】

最後まで、とちぎPAT新聞209号をお読みいただきありがとうございます。

今年度の栃木県PTA連合会の大きな活動は、川崎市にて合同開催された日本PTA全国研究大会・関東ブロック研究大会への参加、そして宇都宮市PTA連合会との共催により11月8日に開催した子育てセミナー2024でした。

多くの会員の皆さまそれぞれの思いがPTA活動に力を与え、子ども達への共通する想いが見えない連帯感を生むものと思います。とちぎPTA新聞は、そのような雰囲気を感じても伝えられるよう情報委員会一丸となって制作してきました。

208号では、日本PTA国内研修事業(渡嘉敷村)に参加した子どもたちのレポート、209号では、魅力ある学校園活動(スリラーナイト2024)を紹介させていただきました。

最後に、お忙しい中ご協力いただいた多くの皆さまに、情報委員会一同心よりお礼を申し上げます。本紙を通じて、今、PTA活動に取り組んでいる皆さま、そして、これからPTA活動に取り組んでいく皆さまの助けに少しでもなることができれば幸いです。

情報委員長 佐藤達也



第3回情報委員会

## 栃木県PTA連合会 保障制度のご案内 (こども総合保険)

適用される割引率は約42%(\*※)です。

24時間電話健康相談・セカンドオピニオンアレンジサービス等が利用可能



※割引率について：ご案内している保険商品の算出基準である保険料（加入者数20名未満の団体における保険料）に対する割合を示します。  
適用される割引率は前年度の加入者数、過去の損害率等に応じて決定します。次年度以降、割引率が変更となる場合がありますので予めご了承ください。

### 栃木県PTA連合会保障制度

お問い合わせ先

制度引受保険会社  
AIG損害保険株式会社  
宇都宮支店  
宇都宮市松が峰1-3-15  
AIG宇都宮ビル2階  
電話：028-346-4100  
9:00～17:00(土・日・祝日・年末年始除く)  
担当：鈴木

取扱代理店・扱者  
株式会社 栃木保険

宇都宮市栄町6-15 赤羽ハイツ1F  
電話：028-643-6611  
9:00～17:00(土・日・祝日・年末年始除く)  
担当：川村・駒野

## 募集

学校から3月上旬に制度案内の封筒が配布されます。オンラインでもお申込みいただけます。

## 主な補償

- ①こどものケガや病気の24時間補償
- ②日常生活中の「個人賠償責任補償」

「学校から貸与された学習端末」については、学校外での破損・紛失・盗難にあった場合の法律上の損害賠償責任を補償します。

令和5年度は、県下全体で1年間の保険金支払い件数が2377件になり、1日に約6.5件の割合となっております。

## ◆令和5年度 主な事故例と保険金支払い◆

- ◇体育の授業中、走って転倒し手首を骨折。 通院 106,000円
- ◇バスケットボール部で、試合中に相手と接触し右膝前十字靭帯断裂。 入院院・手術 119,000円
- ◇自転車にて登校中に転倒し、骨挫傷。 通院 87,000円
- ◇自転車走行中に、歩行者と出会い頭にぶつかりケガをさせる。 個人賠償 48,000円
- ◇自転車走行中に高齢者と接触しケガをさせる。 個人賠償 202,000円
- ◇友人の家の車に同乗させてもらい降りようとした際、ドアを柱にぶつけて破損させる。 個人賠償 314,000円

上記は保険金支払い例です。制度の詳細につきましては取扱代理店・扱者または引受保険会社にお問い合わせください。

## 栃木県PTA教育振興会から

# 「栃木県PTA活動補償制度」のお知らせ

PTA教育振興会は、単位PTAの皆さまが、安心してPTA行事を実施できるよう「PTA活動補償制度」に取り組んでいる団体です。

「PTA活動補償制度」はPTA活動中のさまざまな事故を幅広く補償する制度です。

<p>こんなとき(傷害)や</p> <p>運動会のPTA競技で...</p>  <p>転倒して負傷してしまった</p> <p>①</p>	<p>こんなとき(賠償責任)も</p> <p>PTA奉仕活動で... PTA球技大会で...</p>  <p>学校のガラスを割ってしまった</p> <p>車にボールをぶつけて破損させてしまった</p> <p>②</p>
<p>でも大丈夫！心配はいりません 栃木県PTA活動補償制度があります</p> <p>傷害保険</p> <p>賠償責任保険</p>  <p>おまかせください！</p> <p>でも、それってどんな制度なの？</p> <p>③</p>	<p>それはね...</p>  <p>こちらからも！</p> <p>学校が 栃木県PTA連合会に 加入していれば、 一人当たり 100円で加入できる 魅力的な制度なんです</p> <p>詳しくは栃木県PTA連合会ホームページ内の PTA教育振興会（PTA活動補償制度）のバナーを クリックして資料をご確認ください♪</p> <p>④</p>

栃木県PTA教育振興会

宇都宮市駒生1-1-6 栃木県教育会館内 TEL028-622-2839

## 栃木県PTA活動補償制度

PTA団体傷害保険・PTA賠償責任保険

栃木県PTA活動補償制度は、PTA行事参加中の万一のおケガや賠償事故に備え、安心してPTA行事に専念していただくための制度です。

制度の詳細につきましては、学校に配布されている「栃木県PTA活動補償制度の手引き」をご確認いただくか、引受保険会社にお問合せください。

制度引受保険会社  
AIG損害保険株式会社  
宇都宮支店

宇都宮市松が峰1-3-15 2F  
電話：028-346-4100  
受付時間 9:00～17:00  
(土・日・祝日・年末年始を除く)

D-007379(2025-09)